

大阪府版

ニッセイ 医療費 白書

Medical Expense Report

2023年度版
(2025年11月作成)



日本生命保険相互会社

NISSAY

▶ はじめに

日本では、国民皆保険により、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度を実現し、世界最長の平均寿命や質の高い医療水準を達成してきました。昨今では、急速な少子高齢化や経済環境をはじめ、生活における意識の変化等、医療を取り巻く環境は大きく変化してきています。

とりわけ、医療費は私たちの日常生活に密接に関連し、経済的な負担や社会的な課題として大きな関心が寄せられています。しかしながら、現実には膨大な統計データや情報が存在しており、医療費を適切に理解することは容易ではありません。

そこで、本白書では、日本全国の人口1万人以上の自治体を対象に、医療費の現状をNDBデータ※を用いて分かりやすく解説することを心掛けて作成いたしました。例えば、数ある傷病を41疾病に分類し、有病率や患者1人当たり医療費などの集計に加え、95%信頼区間やベンチマークといった指標を設定することで、様々な視点から医療費を客観的にとらえられるように工夫をしました。

最後に、本白書が、各自治体のご担当者をはじめ、医療関係者や研究者、政策立案者等、幅広い方々に有益となり、医療費へのさらなる関心を高め、社会の発展に貢献できることを願っております。

ご愛読いただけることを、心より感謝申し上げます。

※ NDB (National Data Base) とは、厚生労働省が管理する全国民レベル（カバー率 約99%）のデータベースです。レセプト（診療報酬明細）等の医療・健康情報が、個人を特定できない形で蓄積されています。民間事業者の利活用も厚生労働省の承諾を前提に可能であり、日本生命は2024年4月、厚生労働省より承諾を得ております。

日本生命保険相互会社

監修 五十嵐 中 特任准教授（東京大学大学院薬学系研究科・横浜市立大学データサイエンス研究科）

【経歴】 2008年 東京大学大学院薬学系研究科特任助教、特任准教授

2019年 横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット准教授

2024年から現職

【活動】 厚生労働省 「第3期データヘルス計画に向けた方針見直しのための検討会」

厚生労働省 「セルフメディケーション推進のための有識者検討会」

厚生労働省 「認知症施策における民間活力を活用した課題解決スキーム等の官民連携に関する調査研究」

【著書】 医療統計わかりません（東京図書、2010）

わかってきたかも医療統計（東京図書、2012）

薬剤経済わかりません（東京図書、2014）

新医療経済学---医療の費用と効果を考える（日本評論社、2019）

目次

1. 当白書の見方	003
2. 利用データベース	004
3. 医療費統計／疾病分類別	005
① 感染症及び寄生虫症	006
② 新生物＜腫瘍＞	007
③ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障がい	008
④ 内分泌、栄養及び代謝疾患	009
⑤ 精神及び行動の障がい／神経系の疾患	010
⑥ 眼及び付属器の疾患／耳及び乳様突起の疾患	011
⑦ 循環器系の疾患	012
⑧ 呼吸器系の疾患	013
⑨ 消化器系の疾患	014
⑩ 皮膚及び皮下組織の疾患	015
⑪ 筋骨格系及び結合組織の疾患	016
⑫ 腎尿路生殖器系の疾患	017
⑬ 骨折	018
⑭ その他	019
4. 疾病分類	020
5. 各種数値の算出方法	022

▶ 当白書の見方

《当資料のアウトプット》

No	傷病名	有病率 (%)				患者1人当たり医療費 (円/年)				住民1人当たり医療費 (円/年)			
		観測値	95%信頼区間		BM (全国)	観測値	95%信頼区間		BM (全国)	観測値	95%信頼区間		BM (全国)
6	子宮頸がん	0.14	0.10	0.18	0.13	35,398	20,429	50,367	79,300	49	27	72	62
7	その他の新生物<腫瘍>	10.46	10.12	10.80	10.70	29,796	26,409	33,183	36,359	3,126	2,778	3,473	3,183
8	鉄欠乏性貧血	5.74	5.48	6.00	5.23	39,019	33,400	44,638	57,533	2,239	1,919	2,559	2,128
9	その他の血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障がい	2.17	2.01	2.34	3.00	73,249	58,487	88,011	89,710	1,592	1,261	1,922	2,064
10	糖尿病	4.12	3.90	4.34	4.81	43,867	37,639	50,096	45,466	1,807	1,548	2,067	2,219

観測値					95%信頼区間			全国ベンチマーク	
8. 鉄欠乏性貧血									
有病率		5.74	5.48	6.00	5.23				
患者1人当たり医療費		39,019	33,400	44,638	57,533				
住民1人当たり医療費		2,239	1,919	2,559	2,128				

各統計項目について

①	有病率 (%)	2023年度に対象傷病の治療が実施された患者の割合。
	患者1人当たり医療費 (円/年)	2023年度に対象傷病の治療が実施された患者1人当たりの年間医療費。
	住民1人当たり医療費 (円/年)	2023年度における対象傷病の住民1人当たりの年間医療費。 (=有病率×患者1人当たり医療費)
②	観測値	2023年度の大阪府の観測値。
	95%信頼区間	本来の値(真の値)が95%の確率で含まれる範囲。
	全国ベンチマーク BM (全国)	全国の都道府県の2023年度観測値を、大阪府の性・年齢構成に合わせて調整。高い順に並べ、上位20%相当の数値とした。
③	ベンチマーク超過時のハイライト	大阪府の95%信頼区間の下限が、ベンチマークを超過する場合。

※ 対象となる疾患患者数が少ない場合は、非表示(「-」で表示)となります。

※ 有病率は最小値0.00%~最大値100.00%、患者1人当たり医療費及び住民1人当たり医療費は最小値0円~最大値99,999,999円としております。

▶ 利用データベース

利用データベース

本白書では、NDBデータをはじめ、以下のデータベースを利用しております。

NDBデータ利用範囲

分析対象データ	NDBにおける医科、DPC、調剤レセプトデータ
分析対象期間	2023年4月－2024年3月
分析対象自治体	都道府県並びに市区町村（人口1万人以上）

他のデータベース（NDBデータを除く）

利用データベース	住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）
利用統計表	【総計】2023年市区町村別年齢階級別人口
利用範囲	各数値（観測値・95%信頼区間・ベンチマーク等）の算出

医療費統計／疾病分類別

No.	傷病名	有病率 (%)			患者1人当たり医療費 (円/年)			住民1人当たり医療費 (円/年)		
		観測値	95%信頼区間	BM (全国)	観測値	95%信頼区間	BM (全国)	観測値	95%信頼区間	BM (全国)
1	感染症及び寄生虫症	28.05	28.02 - 28.08	27.87	798,393	795,103 - 801,683	798,393	223,961	223,008 - 224,914	222,778
2	大腸がん	1.09	1.08 - 1.09	1.05	1,640,782	1,622,102 - 1,659,462	1,656,028	17,885	17,652 - 18,117	16,898
3	肺がん	0.56	0.55 - 0.56	0.58	2,532,736	2,502,092 - 2,563,380	2,501,081	14,230	14,017 - 14,443	14,172
4	胃がん	0.72	0.72 - 0.73	0.77	1,657,015	1,634,521 - 1,679,508	1,657,015	12,057	11,868 - 12,245	11,743
5	乳がん	0.96	0.95 - 0.97	0.96	1,200,159	1,184,759 - 1,215,558	1,162,544	11,575	11,407 - 11,743	10,892
6	子宮頸がん	0.09	0.09 - 0.10	0.10	1,263,202	1,199,835 - 1,326,568	1,268,264	1,250	1,182 - 1,318	1,183
7	その他の新生物<腫瘍>	11.15	11.13 - 11.18	11.71	1,095,211	1,089,138 - 1,101,284	1,073,480	122,222	121,507 - 122,937	121,390
8	鉄欠乏性貧血	5.42	5.41 - 5.44	6.37	1,943,918	1,931,492 - 1,956,344	1,877,201	105,471	104,736 - 106,205	109,275
9	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障がい	4.79	4.77 - 4.80	5.32	2,492,752	2,476,194 - 2,509,311	2,427,948	119,453	118,584 - 120,321	123,038
10	糖尿病	13.08	13.06 - 13.10	14.82	1,149,361	1,144,114 - 1,154,609	1,149,361	150,411	149,678 - 151,144	157,508
11	脂質異常症	20.90	20.87 - 20.93	22.41	855,887	852,573 - 859,200	828,654	178,933	178,203 - 179,663	178,933
12	高尿酸血症	5.52	5.51 - 5.54	6.15	1,285,105	1,275,345 - 1,294,864	1,250,572	71,037	70,463 - 71,610	73,345
13	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	15.47	15.45 - 15.50	16.31	1,361,704	1,355,594 - 1,367,814	1,366,204	210,754	209,754 - 211,755	218,104
14	認知症	2.70	2.69 - 2.71	2.84	2,000,650	1,987,947 - 2,013,354	1,939,993	54,181	53,775 - 54,587	53,010
15	統合失調症	2.24	2.23 - 2.25	2.90	1,833,725	1,818,432 - 1,849,019	1,861,395	41,130	40,743 - 41,517	53,546
16	気分〔感情〕障がい	4.94	4.92 - 4.95	5.30	1,083,405	1,075,483 - 1,091,327	1,151,953	53,564	53,143 - 53,986	61,989
17	睡眠障がい	12.43	12.41 - 12.45	13.33	1,246,674	1,240,879 - 1,252,469	1,261,266	155,012	154,242 - 155,783	167,185
18	その他の精神及び行動の障がい ／神経系の疾患	20.59	20.57 - 20.62	22.00	1,048,151	1,043,789 - 1,052,512	1,048,151	215,905	214,964 - 216,846	229,363
19	緑内障	6.70	6.68 - 6.71	6.94	798,816	793,157 - 804,476	850,445	53,539	53,137 - 53,940	53,218
20	その他の眼及び付属器の疾患 ／耳及び乳様突起の疾患	41.44	41.41 - 41.48	42.11	576,942	574,790 - 579,094	570,684	239,130	238,218 - 240,041	231,612
21	高血圧性疾患	23.47	23.44 - 23.50	26.32	1,019,443	1,015,816 - 1,023,069	967,885	239,308	238,410 - 240,207	245,390
22	虚血性心疾患	5.55	5.53 - 5.56	6.19	1,587,727	1,577,968 - 1,597,486	1,525,185	88,166	87,573 - 88,759	90,992
23	脳血管疾患	6.69	6.67 - 6.70	6.90	1,524,343	1,516,033 - 1,532,653	1,524,343	101,980	101,370 - 102,591	103,138
24	その他の循環器系の疾患	15.93	15.91 - 15.96	15.93	1,363,412	1,357,948 - 1,368,876	1,363,412	217,325	216,393 - 218,256	217,325
25	COPD	4.07	4.06 - 4.08	4.37	1,473,053	1,461,288 - 1,484,819	1,526,502	60,045	59,528 - 60,562	66,513
26	その他の呼吸器系の疾患	56.34	56.31 - 56.37	57.53	557,879	556,032 - 559,726	556,922	314,336	313,279 - 315,393	307,929
27	炎症性腸疾患	0.35	0.34 - 0.35	0.37	1,933,639	1,891,197 - 1,976,081	2,055,234	6,822	6,654 - 6,990	7,328
28	便秘	15.68	15.65 - 15.70	16.61	1,422,437	1,416,795 - 1,428,079	1,422,437	223,052	222,103 - 224,000	236,106
29	その他の消化器系の疾患	39.90	39.87 - 39.94	41.19	805,573	802,975 - 808,171	805,573	321,497	320,428 - 322,567	321,497
30	皮膚及び皮下組織の疾患	37.67	37.64 - 37.70	37.79	752,743	750,053 - 755,433	742,317	283,612	282,570 - 284,654	279,137
31	痛風	1.36	1.35 - 1.37	1.66	829,259	814,197 - 844,321	804,916	11,324	11,109 - 11,539	12,320
32	骨粗鬆症	8.48	8.46 - 8.50	8.08	1,386,012	1,378,437 - 1,393,587	1,449,719	117,649	116,957 - 118,341	113,968
33	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	33.14	33.11 - 33.17	34.47	846,170	843,236 - 849,103	822,345	280,455	279,448 - 281,463	288,096
34	腎不全	2.61	2.60 - 2.62	2.96	2,917,057	2,895,227 - 2,938,887	2,798,446	76,175	75,527 - 76,822	79,223
35	子宮内膜炎	1.13	1.12 - 1.14	1.24	364,294	355,045 - 373,542	386,146	4,130	4,022 - 4,238	4,220
36	過多月経／月経前症候群／月経困難症	2.84	2.83 - 2.85	2.73	314,907	309,751 - 320,062	331,859	8,951	8,800 - 9,101	8,699
37	女性不妊症	0.45	0.45 - 0.45	0.46	563,917	551,100 - 576,735	573,603	2,566	2,503 - 2,630	2,592
38	閉経期及び女性更年期状態	1.34	1.33 - 1.34	1.28	423,464	416,555 - 430,373	433,329	5,676	5,578 - 5,775	5,638
39	その他の腎尿路生殖器系の疾患	20.08	20.06 - 20.11	20.12	960,750	956,806 - 964,694	960,750	193,006	192,174 - 193,838	197,343
40	骨折	4.95	4.94 - 4.97	5.13	1,382,948	1,374,016 - 1,391,880	1,380,333	68,534	68,049 - 69,019	68,854
41	その他	53.41	53.38 - 53.45	54.98	683,394	681,344 - 685,444	682,698	365,055	363,937 - 366,173	365,055
合計								413,043	411,889 - 414,197	417,310

医療費統計／疾病分類別 ① 感染症及び寄生虫症

		観測値	9 5 %信頼区間			全国ベンチマーク
1. 感染症及び寄生虫症（※）						
	有病率	28.05	28.02	－	28.08	27.87
	患者 1 人当たり医療費	798,393	795,103	－	801,683	798,393
	住民 1 人当たり医療費	223,961	223,008	－	224,914	222,778

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
1	感染症及び寄生虫症	尋常性疣贅（いぼ）、急性胃腸炎、下痢症、溶連菌感染症、足白癬（みずむし）、ヘリコバクター・ピロリ感染症

医療費統計／疾病分類別 ② 新生物＜腫瘍＞

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
2. 大腸がん						
	有病率	1.09	1.08	－	1.09	1.05
	患者1人当たり医療費	1,640,782	1,622,102	－	1,659,462	1,656,028
	住民1人当たり医療費	17,885	17,652	－	18,117	16,898
3. 肺がん						
	有病率	0.56	0.55	－	0.56	0.58
	患者1人当たり医療費	2,532,736	2,502,092	－	2,563,380	2,501,081
	住民1人当たり医療費	14,230	14,017	－	14,443	14,172
4. 胃がん						
	有病率	0.72	0.72	－	0.73	0.77
	患者1人当たり医療費	1,657,015	1,634,521	－	1,679,508	1,657,015
	住民1人当たり医療費	12,057	11,868	－	12,245	11,743
5. 乳がん						
	有病率	0.96	0.95	－	0.97	0.96
	患者1人当たり医療費	1,200,159	1,184,759	－	1,215,558	1,162,544
	住民1人当たり医療費	11,575	11,407	－	11,743	10,892
6. 子宮頸がん						
	有病率	0.09	0.09	－	0.10	0.10
	患者1人当たり医療費	1,263,202	1,199,835	－	1,326,568	1,268,264
	住民1人当たり医療費	1,250	1,182	－	1,318	1,183
7. その他の新生物＜腫瘍＞（※）						
	有病率	11.15	11.13	－	11.18	11.71
	患者1人当たり医療費	1,095,211	1,089,138	－	1,101,284	1,073,480
	住民1人当たり医療費	122,222	121,507	－	122,937	121,390

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
7	その他の新生物＜腫瘍＞	肝臓がん、膵臓がん、子宮体がん、悪性リンパ腫、白血病、乳腺線維腺腫、子宮筋腫、甲状腺腫瘍

医療費統計／疾病分類別 ③ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障がい

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
8. 鉄欠乏性貧血						
	有病率	5.42	5.41	－	5.44	6.37
	患者1人当たり医療費	1,943,918	1,931,492	－	1,956,344	1,877,201
	住民1人当たり医療費	105,471	104,736	－	106,205	109,275
9. その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障がい（※）						
	有病率	4.79	4.77	－	4.80	5.32
	患者1人当たり医療費	2,492,752	2,476,194	－	2,509,311	2,427,948
	住民1人当たり医療費	119,453	118,584	－	120,321	123,038

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
9	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障がい	溶血性貧血、血小板減少症、好中球減少症、血友病、播種性血管内凝固症候群、サルコイドーシス

医療費統計／疾病分類別 ④ 内分泌、栄養及び代謝疾患

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
10. 糖尿病						
	有病率	13.08	13.06	－	13.10	14.82
	患者1人当たり医療費	1,149,361	1,144,114	－	1,154,609	1,149,361
	住民1人当たり医療費	150,411	149,678	－	151,144	157,508
11. 脂質異常症						
	有病率	20.90	20.87	－	20.93	22.41
	患者1人当たり医療費	855,887	852,573	－	859,200	828,654
	住民1人当たり医療費	178,933	178,203	－	179,663	178,933
12. 高尿酸血症						
	有病率	5.52	5.51	－	5.54	6.15
	患者1人当たり医療費	1,285,105	1,275,345	－	1,294,864	1,250,572
	住民1人当たり医療費	71,037	70,463	－	71,610	73,345
13. その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（※）						
	有病率	15.47	15.45	－	15.50	16.31
	患者1人当たり医療費	1,361,704	1,355,594	－	1,367,814	1,366,204
	住民1人当たり医療費	210,754	209,754	－	211,755	218,104

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
13	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、アルドステロン症、クッシング症候群、卵巣機能不全、脱水症、肥満症

医療費統計／疾病分類別 ⑤ 精神及び行動の障がい／神経系の疾患

		観測値	9 5 %信頼区間			全国ベンチマーク
14. 認知症						
	有病率	2.70	2.69	－	2.71	2.84
	患者1人当たり医療費	2,000,650	1,987,947	－	2,013,354	1,939,993
	住民1人当たり医療費	54,181	53,775	－	54,587	53,010
15. 統合失調症						
	有病率	2.24	2.23	－	2.25	2.90
	患者1人当たり医療費	1,833,725	1,818,432	－	1,849,019	1,861,395
	住民1人当たり医療費	41,130	40,743	－	41,517	53,546
16. 気分〔感情〕障がい						
	有病率	4.94	4.92	－	4.95	5.30
	患者1人当たり医療費	1,083,405	1,075,483	－	1,091,327	1,151,953
	住民1人当たり医療費	53,564	53,143	－	53,986	61,989
17. 睡眠障がい						
	有病率	12.43	12.41	－	12.45	13.33
	患者1人当たり医療費	1,246,674	1,240,879	－	1,252,469	1,261,266
	住民1人当たり医療費	155,012	154,242	－	155,783	167,185
18. その他の精神及び行動の障がい／神経系の疾患（※）						
	有病率	20.59	20.57	－	20.62	22.00
	患者1人当たり医療費	1,048,151	1,043,789	－	1,052,512	1,048,151
	住民1人当たり医療費	215,905	214,964	－	216,846	229,363

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
18	その他の精神及び行動の障がい／神経系の疾患	不安障がい、強迫性障がい、摂食障がい、発達障がい／髄膜炎、パーキンソン病、てんかん、神経障がい

医療費統計／疾病分類別 ⑥ 眼及び付属器の疾患／耳及び乳様突起の疾患

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
19. 緑内障						
	有病率	6.70	6.68	－	6.71	6.94
	患者1人当たり医療費	798,816	793,157	－	804,476	850,445
	住民1人当たり医療費	53,539	53,137	－	53,940	53,218
20. その他の眼及び付属器の疾患／耳及び乳様突起の疾患（※）						
	有病率	41.44	41.41	－	41.48	42.11
	患者1人当たり医療費	576,942	574,790	－	579,094	570,684
	住民1人当たり医療費	239,130	238,218	－	240,041	231,612

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
20	その他の眼及び付属器の疾患／耳及び乳様突起の疾患	白内障、網膜剥離、乱視、近視、ドライアイ／メニエール病、良性発作性頭位めまい症、中耳炎、難聴

医療費統計／疾病分類別 ⑦ 循環器系の疾患

		観測値	9 5 %信頼区間			全国ベンチマーク
21. 高血圧性疾患（※）						
	有病率	23. 47	23. 44	－	23. 50	26. 32
	患者 1 人当たり医療費	1, 019, 443	1, 015, 816	－	1, 023, 069	967, 885
	住民 1 人当たり医療費	239, 308	238, 410	－	240, 207	245, 390
22. 虚血性心疾患（※）						
	有病率	5. 55	5. 53	－	5. 56	6. 19
	患者 1 人当たり医療費	1, 587, 727	1, 577, 968	－	1, 597, 486	1, 525, 185
	住民 1 人当たり医療費	88, 166	87, 573	－	88, 759	90, 992
23. 脳血管疾患（※）						
	有病率	6. 69	6. 67	－	6. 70	6. 90
	患者 1 人当たり医療費	1, 524, 343	1, 516, 033	－	1, 532, 653	1, 524, 343
	住民 1 人当たり医療費	101, 980	101, 370	－	102, 591	103, 138
24. その他の循環器系の疾患（※）						
	有病率	15. 93	15. 91	－	15. 96	15. 93
	患者 1 人当たり医療費	1, 363, 412	1, 357, 948	－	1, 368, 876	1, 363, 412
	住民 1 人当たり医療費	217, 325	216, 393	－	218, 256	217, 325

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
21	高血圧性疾患	本態性高血圧、高血圧性心不全、高血圧性腎不全
22	虚血性心疾患	狭心症、急性心筋梗塞
23	脳血管疾患	くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈瘤
24	その他の循環器系の疾患	不整脈、心肥大、心不全、弁膜症、大動脈解離、下肢静脈瘤、静脈血栓塞栓症、起立性低血圧症

医療費統計／疾病分類別 ⑧ 呼吸器系の疾患

		観測値	9 5 %信頼区間			全国ベンチマーク
25. COPD（※）						
	有病率	4. 07	4. 06	－	4. 08	4. 37
	患者 1 人当たり医療費	1, 473, 053	1, 461, 288	－	1, 484, 819	1, 526, 502
	住民 1 人当たり医療費	60, 045	59, 528	－	60, 562	66, 513
26. その他の呼吸器系の疾患（※）						
	有病率	56. 34	56. 31	－	56. 37	57. 53
	患者 1 人当たり医療費	557, 879	556, 032	－	559, 726	556, 922
	住民 1 人当たり医療費	314, 336	313, 279	－	315, 393	307, 929

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
25	COPD	慢性気管支炎、肺気腫
26	その他の呼吸器系の疾患	アレルギー性鼻炎、急性気管支炎、急性上気道炎、急性咽頭喉頭炎、急性副鼻腔炎、インフルエンザ

医療費統計／疾病分類別 ⑨ 消化器系の疾患

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
27. 炎症性腸疾患						
	有病率	0.35	0.34	－	0.35	0.37
	患者1人当たり医療費	1,933,639	1,891,197	－	1,976,081	2,055,234
	住民1人当たり医療費	6,822	6,654	－	6,990	7,328
28. 便秘						
	有病率	15.68	15.65	－	15.70	16.61
	患者1人当たり医療費	1,422,437	1,416,795	－	1,428,079	1,422,437
	住民1人当たり医療費	223,052	222,103	－	224,000	236,106
29. その他の消化器系の疾患（※）						
	有病率	39.90	39.87	－	39.94	41.19
	患者1人当たり医療費	805,573	802,975	－	808,171	805,573
	住民1人当たり医療費	321,497	320,428	－	322,567	321,497

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
29	その他の消化器系の疾患	慢性胃炎、逆流性食道炎、胃潰瘍、肝機能障がい、脂肪肝、急性胃炎、大腸ポリープ、過敏性腸症候群

医療費統計／疾病分類別 ⑩ 皮膚及び皮下組織の疾患

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
30. 皮膚及び皮下組織の疾患（※）						
	有病率	37.67	37.64	－	37.70	37.79
	患者1人当たり医療費	752,743	750,053	－	755,433	742,317
	住民1人当たり医療費	283,612	282,570	－	284,654	279,137

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
30	皮膚及び皮下組織の疾患	湿疹、皮膚炎、じんま疹、皮脂欠乏症、皮膚感染症、尋常性ざ瘡（にきび）、粉瘤、じょく瘡（床ずれ）

医療費統計／疾病分類別 ⑪ 筋骨格系及び結合組織の疾患

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
31. 痛風						
	有病率	1.36	1.35	－	1.37	1.66
	患者1人当たり医療費	829,259	814,197	－	844,321	804,916
	住民1人当たり医療費	11,324	11,109	－	11,539	12,320
32. 骨粗鬆症						
	有病率	8.48	8.46	－	8.50	8.08
	患者1人当たり医療費	1,386,012	1,378,437	－	1,393,587	1,449,719
	住民1人当たり医療費	117,649	116,957	－	118,341	113,968
33. その他の筋骨格系及び結合組織の疾患（※）						
	有病率	33.14	33.11	－	33.17	34.47
	患者1人当たり医療費	846,170	843,236	－	849,103	822,345
	住民1人当たり医療費	280,455	279,448	－	281,463	288,096

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
33	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	腰痛症、肩関節周囲炎、変形性膝関節症、頸肩腕症候群、関節リウマチ、頸椎症、腰椎椎間板ヘルニア、筋肉痛

医療費統計／疾病分類別 ⑫ 腎尿路生殖器系の疾患

		観測値	95%信頼区間		全国ベンチマーク	
34. 腎不全（※）						
	有病率	2.61	2.60	－	2.62	2.96
	患者1人当たり医療費	2,917,057	2,895,227	－	2,938,887	2,798,446
	住民1人当たり医療費	76,175	75,527	－	76,822	79,223
35. 子宮内膜症						
	有病率	1.13	1.12	－	1.14	1.24
	患者1人当たり医療費	364,294	355,045	－	373,542	386,146
	住民1人当たり医療費	4,130	4,022	－	4,238	4,220
36. 過多月経／月経前症候群／月経困難症						
	有病率	2.84	2.83	－	2.85	2.73
	患者1人当たり医療費	314,907	309,751	－	320,062	331,859
	住民1人当たり医療費	8,951	8,800	－	9,101	8,699
37. 女性不妊症						
	有病率	0.45	0.45	－	0.45	0.46
	患者1人当たり医療費	563,917	551,100	－	576,735	573,603
	住民1人当たり医療費	2,566	2,503	－	2,630	2,592
38. 閉経期及び女性更年期状態						
	有病率	1.34	1.33	－	1.34	1.28
	患者1人当たり医療費	423,464	416,555	－	430,373	433,329
	住民1人当たり医療費	5,676	5,578	－	5,775	5,638
39. その他の腎尿路生殖器系の疾患（※）						
	有病率	20.08	20.06	－	20.11	20.12
	患者1人当たり医療費	960,750	956,806	－	964,694	960,750
	住民1人当たり医療費	193,006	192,174	－	193,838	197,343

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
34	腎不全	急性腎不全（急性腎障がい）、CKD（慢性腎臓病）、末期腎不全
39	その他の腎尿路生殖器系の疾患	ネフローゼ症候群、前立腺肥大症、膀胱炎、過活動膀胱、腎結石症、尿管結石症、細菌性膀胱炎、尿路感染症

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
40. 骨折						
	有病率	4.95	4.94	－	4.97	5.13
	患者1人当たり医療費	1,382,948	1,374,016	－	1,391,880	1,380,333
	住民1人当たり医療費	68,534	68,049	－	69,019	68,854

医療費統計／疾病分類別 ⑭ その他

		観測値	95%信頼区間			全国ベンチマーク
41. その他						
	有病率	53.41	53.38	－	53.45	54.98
	患者1人当たり医療費	683,394	681,344	－	685,444	682,698
	住民1人当たり医療費	365,055	363,937	－	366,173	365,055

※集計対象に含まれる主な疾患は次の通り

No.	傷病名	主な疾患
41	その他	頭痛、嘔吐症、食物アレルギー、発熱、めまい症、 眼内レンズ挿入眼、切迫流産、腹痛症、血尿、食欲不振

▶ 疾病分類

当資料では、分かりやすさの観点から、NDBにおけるICD-10を付表1に掲げる基準に基づき、41疾病に分類しました。

<付表1>

No.	傷病名	ICD-10	主な疾患
1	感染症及び寄生虫症	A00-B99	尋常性疣贅（いぼ）、急性胃腸炎、下痢症、溶連菌感染症、足白癬（みずむし）、ヘリコバクター・ピロリ感染症
2	大腸がん	C18-C20	大腸がん
3	肺がん	C33-C34	肺がん
4	胃がん	C16	胃がん
5	乳がん	C50	乳がん
6	子宮頸がん	C53	子宮頸がん
7	その他の新生物＜腫瘍＞	C00-D48 (No. 2-6に掲げるICD-10を除く)	肝臓がん、膵臓がん、子宮体がん、悪性リンパ腫、白血病、乳腺線維腺腫、子宮筋腫、甲状腺腫瘍
8	鉄欠乏性貧血	D50	鉄欠乏性貧血
9	その他の血液及び造血器の疾患 ならびに免疫機構の障がい	D51-D89	溶血性貧血、血小板減少症、好中球減少症、血友病、播種性血管内凝固症候群、サルコイドーシス
10	糖尿病	E10-E14	糖尿病
11	脂質異常症	E78	脂質異常症
12	高尿酸血症	E79.0	高尿酸血症
13	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E00-E90 (No. 10-12に掲げるICD-10を除く)	甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、アルドステロン症、クッシング症候群、卵巣機能不全、脱水症、肥満症
14	認知症	F00-F03/G30	アルツハイマー型認知症、血管性認知症
15	統合失調症	F20-F29	統合失調症
16	気分〔感情〕障がい	F30-F39	躁病、うつ病、躁うつ病
17	睡眠障がい	G47	睡眠障がい
18	その他の精神及び行動の障がい ／神経系の疾患	F00-G99 (No. 14-17に掲げるICD-10を除く)	不安障がい、強迫性障がい、摂食障がい、発達障がい ／髄膜炎、パーキンソン病、てんかん、神経障がい
19	緑内障	H40-H42	緑内障
20	その他の眼及び付属器の疾患 ／耳及び乳様突起の疾患	H00-H99 (No. 19に掲げるICD-10を除く)	白内障、網膜剥離、乱視、近視、ドライアイ ／メニエール病、良性発作性頭位めまい症、中耳炎、難聴

<付表1（続き）>

No.	傷病名	ICD-10	主な疾患
21	高血圧性疾患	I10-I15	本態性高血圧、高血圧性心不全、高血圧性腎不全
22	虚血性心疾患	I20-I25	狭心症、急性心筋梗塞
23	脳血管疾患	I60-I69	くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈瘤
24	その他の循環器系の疾患	I00-I99 (No. 21-23に掲げるICD-10を除く)	不整脈、心肥大、心不全、弁膜症、大動脈解離、 下肢静脈瘤、静脈血栓塞栓症、起立性低血圧症
25	COPD	J41-J44	慢性気管支炎、肺気腫
26	その他の呼吸器系の疾患	J00-J99 (No. 25に掲げるICD-10を除く)	アレルギー性鼻炎、急性気管支炎、急性上気道炎、 急性咽頭喉頭炎、急性副鼻腔炎、インフルエンザ
27	炎症性腸疾患	K50-K51	クローン病、潰瘍性大腸炎
28	便秘	K59.0	便秘
29	その他の消化器系の疾患	K00-K93 (No. 27-28に掲げるICD-10を除く)	慢性胃炎、逆流性食道炎、胃潰瘍、肝機能障がい、 脂肪肝、急性胃炎、大腸ポリープ、過敏性腸症候群
30	皮膚及び皮下組織の疾患	L00-L99	湿疹、皮膚炎、じんま疹、皮脂欠乏症、皮膚感染症、 尋常性ざ瘡(にきび)、粉瘤、じょく瘡(床ずれ)
31	痛風	M10	痛風
32	骨粗鬆症	M80-M82	骨粗鬆症
33	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99 (No. 31-32に掲げるICD-10を除く)	腰痛症、肩関節周囲炎、変形性膝関節症、頸肩腕症候群、 関節リウマチ、頸椎症、腰椎椎間板ヘルニア、筋肉痛
34	腎不全	N17-N19	急性腎不全(急性腎障がい)、CKD(慢性腎臓病)、 末期腎不全
35	子宮内膜症	N80	子宮内膜症
36	過多月経／月経前症候群／月経困難症	N92/N94.3-N94.6	過多月経、月経前症候群、月経困難症
37	女性不妊症	N97	女性不妊症
38	閉経期及び女性更年期状態	N951	閉経期及び女性更年期状態
39	その他の腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99 (No. 34-38に掲げるICD-10を除く)	ネフローゼ症候群、前立腺肥大症、膀胱炎、過活動膀胱、 腎結石症、尿管結石症、細菌性膀胱炎、尿路感染症
40	骨折	S02, S12, S22, S32, S42, S52, S62, S72, S82, S92, T02, T08, T10, T12, T14.2	骨折
41	その他	上記以外	頭痛、嘔吐症、食物アレルギー、発熱、めまい症、 眼内レンズ挿入眼、切迫流産、腹痛症、血尿、食欲不振

▶ 各種数値の算出方法

有病率に関する算出方法 1/2

ここでは、あるA県を例にして、算出方法を説明します。

<記号>

N_A : A県の総人数（『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）』※）

N_A^D : A県の中で、疾病分類 D に属する傷病を診断確定された人の人数

※ 各市区町村の各性年齢群団別において、NDBデータにおける治療が実施された患者の人数が『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）』の人数を上回る場合はNDBデータにおける治療が実施された患者の人数としております。

<観測値の算出方法>

A県における疾病分類 D の有病率の観測値は、以下の通りです。

$$p_A^D = \frac{N_A^D}{N_A}$$

<95%信頼区間の算出方法>

A県における疾病分類 D の有病率の分散 $V_A^D(Prev)$ 及び標準偏差 $\sigma_A^D(Prev)$ は、それぞれ以下の通りです。

$$V_A^D(Prev) = p_A^D(1 - p_A^D)$$

$$\sigma_A^D(Prev) = \sqrt{V_A^D(Prev)}$$

A県における疾病分類 D の有病率の95%信頼区間は、以下の通りです。

$$\left[\max \left(p_A^D - 1.96 \times \frac{\sigma_A^D(Prev)}{\sqrt{N_A}}, 0 \right), \min \left(p_A^D + 1.96 \times \frac{\sigma_A^D(Prev)}{\sqrt{N_A}}, 1 \right) \right]$$

▶ 各種数値の算出方法

有病率に関する算出方法 2/2

<性年齢調整方法（ベンチマーク作成用）>

A県のベンチマークを作成するために、
各都道府県における性年齢調整後の疾病分類 D の有病率を算出します。

具体的には、例えばB県に対しては、次のように算出します。

まず、各性年齢群団別の疾病分類 D の有病率を算出します。

使用する記号は以下の通りです。

J : 性年齢の組み合わせ
(例) $J = \{(\text{男性}, 0\text{歳}-9\text{歳}), (\text{男性}, 10\text{歳}-19\text{歳}), \dots\}$
 $N_A(J = j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人の人数
 $N_A^D(J = j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人のうち、
傷病分類 D に属する傷病を診断確定された人の人数

これらの記号を用いると、B県における各性年齢別の疾病分類 D の有病率は、
以下の通りです。

$$p_B^D(J = j) = \frac{N_B^D(J = j)}{N_B(J = j)}$$

※当該区分に属する人がいない場合、
すなわち、 $N_B(J = j) = 0$ となる場合、
当該区分における全国の疾病分類 D の有病率と
同一とします。

上記記号を用いると、B県における（A県への）性年齢調整後の疾病分類 D の有病率は、
以下の通りとなります。

$$p_{B|A}^D = \frac{\sum_{j \in J} N_A(J = j) \times p_B^D(J = j)}{N_A}$$

<ベンチマーク（BM）の算出方法>

A県の全国ベンチマークは、以下の通りです。

まず、上記で定めた性年齢調整後の疾病分類 D の有病率を、全国の都道府県で算出します。
全国の都道府県の中で、算出した値が高い方から20%の都道府県の
性年齢調整後の疾病分類 D の有病率を、当該A県の全国ベンチマークとします。

▶ 各種数値の算出方法

患者1人当たり医療費に関する算出方法 1/2

ここでは、あるA県を例にして、算出方法を説明します。

<記号>

$Cost(i, D)$: i さんが疾病分類 D に属する傷病の診断確定を受けていた場合は i さんの医療費合計、
 i さんが疾病分類 D に属する傷病の診断確定を受けていない場合はゼロ

(例1) 日生太郎さんが疾病分類 D に属する傷病の確定診断を受けていた場合
 $Cost(\text{日生太郎}, D) = \text{日生太郎さんの医療費合計額}$
(例2) 日生太郎さんが疾病分類 D に属する傷病の確定診断を受けていない場合
 $Cost(\text{日生太郎}, D) = 0$

N_A^D : A県の中で、疾病分類 D に属する傷病を診断確定された人の人数

I_A^D : A県の中で、疾病分類 D に属する傷病を診断確定された人からなる集合
(例) $I_A^D = \{\text{日生太郎}, \text{日生花子}, \dots\}$

<観測値の算出方法>

A県における疾病分類 D の患者1人当たり医療費の観測値は、以下の通りです。

$$m_A^D = \frac{\sum_{i \in I_A^D} Cost(i, D)}{N_A^D}$$

<95%信頼区間の算出方法>

A県における疾病分類 D の患者ごとの医療費の不偏分散 $V_A^D(Cost_P)$ 及び不偏標準偏差 $\sigma_A^D(Cost_P)$ は、それぞれ以下の通りです。

$$V_A^D(Cost_P) = \frac{\sum_{i \in I_A^D} (Cost(i, D) - m_A^D)^2}{N_A^D - 1}$$

$$\sigma_A^D(Cost_P) = \sqrt{V_A^D(Cost_P)}$$

A県における疾病分類 D の患者1人当たり医療費の95%信頼区間は、以下の通りです。

$$\left[\max \left(m_A^D - t_{N_A^D - 1, 0.05}^* \times \frac{\sigma_A^D(Cost_P)}{\sqrt{N_A^D}}, 0 \right), \min \left(m_A^D + t_{N_A^D - 1, 0.05}^* \times \frac{\sigma_A^D(Cost_P)}{\sqrt{N_A^D}}, 99999999 \right) \right]$$

※自由度 $N_A^D - 1$ の t 分布の両側5%点。ただし、当白書では便宜上、一律で1.96としております。

▶ 各種数値の算出方法

患者1人当たり医療費に関する算出方法 2/2

<性年齢調整方法（ベンチマーク作成用）>

A県のベンチマークを作成するために、
各都道府県における性年齢調整後の疾病分類 D の患者1人当たり医療費を算出します。

具体的には、例えばB県に対しては、次のように算出します。

まず、各性年齢群団別の疾病分類 D の患者1人当たり医療費を算出します。

使用する記号は以下の通りです。

J : 性年齢の組み合わせ
(例) $J = \{(男性, 0歳-9歳), (男性, 10歳-19歳), \dots\}$
 $I_A^D(J=j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人のうち、
傷病分類 D に属する傷病を診断確定された人からなる集合
 $N_A^D(J=j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人のうち、
傷病分類 D に属する傷病を診断確定された人の人数

これらの記号を用いると、B県における各性年齢別の疾病分類 D の患者1人当たり医療費は、
以下の通りです。

$$m_B^D(J=j) = \frac{\sum_{i \in I_B^D(J=j)} Cost(i, D)}{N_B^D(J=j)}$$

※当該区分に属する人がいない場合、
すなわち、 $N_B^D(J=j) = 0$ となる場合、
当該区分における全国における疾病分類 D の
患者1人当たり医療費と同一とします。

上記記号を用いると、B県における（A県への）性年齢調整後の疾病分類 D の
患者1人当たり医療費は、以下の通りとなります。

$$m_{B|A}^D = \frac{\sum_{j \in J} N_A^D(J=j) \times m_B^D(J=j)}{N_A^D}$$

<ベンチマーク（BM）の算出方法>

A県の全国ベンチマークは、以下の通りです。

まず、上記で定めた性年齢調整後の疾病分類 D の患者1人当たり医療費を、
全国の都道府県で算出します。

全国の都道府県の中で、算出した値が高い方から20%の都道府県の
性年齢調整後の疾病分類 D の患者1人当たり医療費を、当該A県の全国ベンチマークとします。

▶ 各種数値の算出方法

住民1人当たり医療費に関する算出方法 1/2

ここでは、あるA県を例にして、算出方法を説明します。

<記号>

$Cost(i, D)$: i さんが疾病分類 D に属する傷病の診断確定を受けていた場合は i さんの医療費合計、
 i さんが疾病分類 D に属する傷病の診断確定を受けていない場合はゼロ

$$\left(\begin{array}{l} \text{(例1) 日生太郎さんが疾病分類 } D \text{ に属する傷病の確定診断を受けていた場合} \\ \quad Cost(\text{日生太郎}, D) = \text{日生太郎さんの医療費合計額} \\ \text{(例2) 日生太郎さんが疾病分類 } D \text{ に属する傷病の確定診断を受けていない場合} \\ \quad Cost(\text{日生太郎}, D) = 0 \end{array} \right)$$

N_A : A県の総人数

I_A : A県の全ての人からなる集合

(例) $I_A = \{\text{日生太郎}, \text{日生花子}, \dots\}$

<観測値の算出方法>

A県における疾病分類 D の住民1人当たり医療費の観測値は、以下の通りです。

$$\mu_A^D = \frac{\sum_{i \in I_A} Cost(i, D)}{N_A}$$

<95%信頼区間の算出方法>

A県における疾病分類 D の住民ごとの医療費の不偏分散 $V_A^D(Cost)$ 及び不偏標準偏差 $\sigma_A^D(Cost)$ は、それぞれ以下の通りです。

$$V_A^D(Cost) = \frac{\sum_{i \in I_A} (Cost(i, D) - \mu_A^D)^2}{N_A - 1}$$

$$\sigma_A^D(Cost) = \sqrt{V_A^D(Cost)}$$

A県における疾病分類 D の住民1人当たり医療費の95%信頼区間は、以下の通りです。

$$\left[\max \left(\mu_A^D - t_{N_A-1, 0.05}^* \times \frac{\sigma_A^D(Cost)}{\sqrt{N_A}}, 0 \right), \min \left(\mu_A^D + t_{N_A-1, 0.05}^* \times \frac{\sigma_A^D(Cost)}{\sqrt{N_A}}, 99999999 \right) \right]$$

※自由度 $N_A - 1$ の t 分布の両側5%点。ただし、当白書では便宜上、一律で1.96としております。

▶ 各種数値の算出方法

住民1人当たり医療費に関する算出方法 2/2

<性年齢調整方法（ベンチマーク作成用）>

A県のベンチマークを作成するために、
各都道府県における性年齢調整後の疾病分類 D の住民1人当たり医療費を算出します。

具体的には、例えばB県に対しては、次のように算出します。

まず、各性年齢群団別の疾病分類 D の住民1人当たり医療費を算出します。

使用する記号は以下の通りです。

J : 性年齢の組み合わせ
(例) $J = \{(\text{男性}, 0\text{歳}-9\text{歳}), (\text{男性}, 10\text{歳}-19\text{歳}), \dots\}$
 $I_A(J=j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人からなる集合
 $N_A(J=j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人の人数

これらの記号を用いると、B県における各性年齢別の疾病分類 D の住民1人当たり医療費は、以下の通りです。

$$\mu_B^D(J=j) = \frac{\sum_{i \in I_B(J=j)} \text{Cost}(i, D)}{N_B(J=j)}$$

※当該区分に属する人がいない場合、
すなわち、 $N_B(J=j) = 0$ となる場合、
当該区分における全国の疾病分類 D の
住民1人当たり医療費と同一とします。

上記記号を用いると、B県における（A県への）性年齢調整後の疾病分類 D の
住民1人当たり医療費は、以下の通りとなります。

$$\mu_{B|A}^D = \frac{\sum_{j \in J} N_A(J=j) \times \mu_B^D(J=j)}{N_A}$$

<ベンチマーク（BM）の算出方法>

A県の全国ベンチマークは、以下の通りです。

まず、上記で定めた性年齢調整後の疾病分類 D の住民1人当たり医療費を、
全国の都道府県で算出します。

全国の都道府県の中で、算出した値が高い方から20%の都道府県の
性年齢調整後の疾病分類 D の住民1人当たり医療費を、当該A県の全国ベンチマークとします。

▶ 各種数値の算出方法

住民1人当たり医療費（合計）に関する算出方法 1/2

ここでは、あるA県を例にして、算出方法を説明します。

<記号>

$Cost(i)$: i さんの医療費合計額

(例) $Cost(\text{日生太郎}) = \text{日生太郎さんの医療費合計額}$

N_A : A県の総人数

I_A : A県の全ての人からなる集合

(例) $I_A = \{\text{日生太郎}, \text{日生花子}, \dots\}$

<観測値の算出方法>

A県における住民1人当たり医療費の観測値は、以下の通りです。

$$\mu_A = \frac{\sum_{i \in I_A} Cost(i)}{N_A}$$

<95%信頼区間の算出方法>

A県における住民ごとの医療費の不偏分散 $V_A(Cost)$ 及び不偏標準偏差 $\sigma_A(Cost)$ は、それぞれ以下の通りです。

$$V_A(Cost) = \frac{\sum_{i \in I_A} (Cost(i) - \mu_A)^2}{N_A - 1}$$

$$\sigma_A(Cost) = \sqrt{V_A(Cost)}$$

A県における住民1人当たり医療費の95%信頼区間は、以下の通りです。

$$\left[\max \left(\mu_A - t_{N_A-1, 0.05}^* \times \frac{\sigma_A(Cost)}{\sqrt{N_A}}, 0 \right), \min \left(\mu_A + t_{N_A-1, 0.05}^* \times \frac{\sigma_A(Cost)}{\sqrt{N_A}}, 99999999 \right) \right]$$

※自由度 $N_A - 1$ のt分布の両側5%点。ただし、当白書では便宜上、一律で1.96としております。

▶ 各種数値の算出方法

住民1人当たり医療費（合計）に関する算出方法 2/2

<性年齢調整方法（ベンチマーク作成用）>

A県のベンチマークを作成するために、
各都道府県における性年齢調整後の住民1人当たり医療費を算出します。

具体的には、例えばB県に対しては、次のように算出します。

まず、各性年齢群団別の住民1人当たり医療費を算出します。

使用する記号は以下の通りです。

J : 性年齢の組み合わせ
(例) $J = \{(\text{男性}, 0\text{歳}-9\text{歳}), (\text{男性}, 10\text{歳}-19\text{歳}), \dots\}$
 $I_A(J=j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人からなる集合
 $N_A(J=j)$: A県の性年齢の組み合わせが j である人の人数

これらの記号を用いると、B県における各性年齢別の住民1人当たり医療費は、
以下の通りです。

$$\mu_B(J=j) = \frac{\sum_{i \in I_B(J=j)} \text{Cost}(i)}{N_B(J=j)}$$

※当該区分に属する人がいない場合、
すなわち、 $N_B(J=j) = 0$ となる場合、
当該区分における全国における
住民1人当たり医療費と同一とします。

上記記号を用いると、B県の（A県への）性年齢調整後の住民1人当たり医療費は、
以下の通りとなります。

$$\mu_{B|A} = \frac{\sum_{j \in J} N_A(J=j) \times \mu_B(J=j)}{N_A}$$

<ベンチマーク（BM）の算出方法>

A県の全国ベンチマークは、以下の通りです。

まず、上記で定めた性年齢調整後の住民1人当たり医療費を、全国の都道府県で算出します。
全国の都道府県の中で、算出した値が高い方から20%の都道府県の
性年齢調整後の住民1人当たり医療費を、当該A県の全国ベンチマークとします。

▶ 各種数値の算出方法

数値の非表示について

NDBデータを用いるにあたっては、厚生労働省の定めるガイドラインにおいて、対象となる疾患患者数が少ない等の場合には数を表示しないこととされております。

本白書では、端数処理後の有病率が0となる、または、人口×有病率を患者数とみなして当該患者数と人口がガイドラインに示される条件に該当する等の場合には、数値を表示せず「－」としております。

<匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版（抜粋）>

2 公表物の満たすべき基準

研究の成果の公表にあたっては、個別の同意がある場合等を除き、原則として、公表される研究の成果によって特定の個人又は医療機関等が第三者に識別されないよう、利用者は次の公表形式の基準に基づき、十分に配慮すること。（略）

（1）最小集計単位の原則

i) 患者等の数の場合

原則として、成果物において患者等の数が 10 未満になる集計単位が含まれていないこと（ただし患者数が「0」の場合を除く）。また、集計単位が市区町村の場合には、以下のとおりとする。

- ① 人口 2,000 人未満の市区町村では、患者等の数を表示しないこと。
- ② 人口 2,000 人以上 25,000 人未満の市区町村では、患者数が 20 未満になる集計単位が含まれないこと。
- ③ 人口 25,000 人以上の市区町村では、患者数が 10 未満になる集計単位が含まれないこと。

ii) 医療機関数3未満の場合

原則として、医療機関等又は保険者の属性情報による集計数が3未満となる場合でもマスキングは行わないこととするが、関係する情報と成果物を照合することにより特定の個人を識別することができる場合は、マスキングを行うこと（ただし患者等の数が「0」の場合は公表可能。）。

iii) 薬剤データの集計の場合

- ① 当該情報に対応する患者数が 10 未満であることが明らかな場合、処方数等の集計単位は含まないこと。
- ② 当該情報に対応する患者数が不明な場合、内服・外用については 1,000 未満になる集計単位を含まないこと。また、注射薬については、400 未満になる集計単位を含まないこと。

iv) リハビリテーションの集計の場合

- ① 当該情報に対応する患者数が 10 未満であることが明らかな場合、リハビリテーションに関する集計単位は含まないこと。
- ② 当該情報に対応する患者数が不明な場合、100 未満になる集計単位を含まないこと。

（2）年齢区分

原則として、成果物における最も小さい年齢区分の集計単位は5歳毎とすること。100 歳以上については、同一のグループとすること。

ただし、20 歳未満については、研究の目的に応じ、特に必要と判断される場合には、各歳別の集計を可能とする。

（3）地域区分

i) 患者・受診者の住所地・居住地について、原則として成果物における最も狭い地域区分の集計単位は2次医療圏又は市区町村とすること。

ii) 医療機関等又は保険者の所在地について、原則として成果物における最も狭い地域区分の集計単位は2次医療圏又は市区町村とすること。

iii) i)又は ii)において市区町村で集計した場合は、保険者の特定を避けるため、保険者種別でのクロス集計を公表することは認めない。ただし、保険者の同意を得ている場合等はこの限りではない。



本白書は、匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を利用した国民保健に関する一般的な情報を提供するものであり、特定の商品または役務の広告・宣伝に用いるものではありません。